



東京スカイツリー®とあかりのコラボレーションをしながら台東区と隅田川区を繋ぐ隅田川橋梁ライトアップ

東武スカイツリーライン
隅田川橋梁ライトアップ

TOBU RAILWAY SUMIDAGAWA BRIDGE ILLUMINATION

東京スカイツリー®とともに
まちの賑わいを繋ぐ色彩の架け橋

1931(昭和6)年に開通した東武スカイツリーラインの隅田川橋梁は、隅田川の景観や車窓からの展望に考慮してトラス橋を低く抑え、架線柱にはアーチを採用。歴史的価値と構造の美しさから鉄の橋百選に選ばれている。

2018年4月、浅草・東京スカイツリーエリアの賑わい創出と回遊性の向上をめざして、隅田川橋梁のライトアップが始まった。通常時の演出は、東京スカイツリー®の「粋」「雅」「幟」3つのライティングをイメージした色彩を配することで東京スカイツリー®とあかりのコラボレーションを実現。

隅田川公園桜まつりや三社祭など、四季を通して行われる地域のイベントなどにも合わせた照明演出も行われる。ライトアップ計画にあたっては、美と品格を追求し、隅田川に架かる他の12橋と調和しながら、鉄道橋としての存在感を示す演出が求められた。照明演出のパターンは東武鉄道社内からも募られ、集まった提案から40のライトアップパターンが採用されている。これらのあかりは東京スカイツリー®の展望台をはじめ、隅田川公園や運行するクルーズ船からも楽しみ、伝統文化と先進性が融合した観光地をめざす浅草・東京スカイツリーエリアの水辺環境に新たな魅力を加えている。

東武スカイツリーライン隅田川橋梁ライトアップ

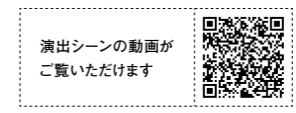
所在地／東京都墨田区・台東区
 施工主／東武鉄道株式会社
 照明設計／パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
 電気工事／東武電設工業株式会社
 竣工／2018年2月



アーチ照明には多彩な演出を可能にする小型のLEDフルカラー投光器「ダイナワン」を採用



ドットタイプのライン照明が「流れ」や「ゆらぎ」を演出。写真は特急リパティの走行をイメージした照明演出



- 主な設備
- LEDフルカラー投光器「ダイナワン」×40台
 - LEDフルカラー照明器具「ドット9」×34台
 - スポットライト×52台
 - 主制御盤